

## B型肝炎ワクチン

朝霞地区医師会 宇野 拓

☎464-4666

2016年10月1日から、B型肝炎ワクチンが定期接種となりました。対象となるのは2016年4月1日以降に生まれた0歳児で、1歳になるまでに合計3回の接種をします。

B型肝炎は、B型肝炎ウイルスの感染によっておこる肝臓の病気です。

感染後、一定期間の後にウイルスが体から排除されて治癒する一過性の感染と、ウイルスが長期にわたって体の中に住みついてしまう持続感染の2つの感染様式があります。

一過性の感染では、多くの人は自覚症状がないまま治癒し、一部の人が黄疸・全身倦怠感・食欲不振・悪心・嘔吐などの症状で急性肝炎を発症します。急性肝炎はほとんどの場合治りますが、まれに激しい症状から命にかかわる劇症肝炎を引き起こす可能性があります。

持続感染では、症状としては明らかにならないままウイルスが主に肝臓内部に潜み、年月を経て慢性肝炎・肝硬変・肝がんなどになることがあります。

免疫の機能が未熟な赤ちゃんや幼児が感染すると、急性肝炎の症状は軽い又はあまりはつきりしないので、ウイルスが体から排除されずにそのまま潜んでしまう持続感染

のリスクが高くなります。このため乳児へのB型肝炎ワクチンの定期接種は、肝炎の予防というより持続感染を防ぎ、将来発生するかもしれない慢性肝炎・肝硬変・肝がんを予防することが最大の目的です。

感染は、B型肝炎ウイルスに感染しているお母さんから生まれた新生児、感染している血液に直接ふれたような場合、感染している人との性的接触などで生じます。2002年4月には佐賀県の保育所で園児19名、職員6名の合計25名の集団感染の報告がありました。感染経路の完全な特定は出来ませんでした。血液や汗・唾液を伴った皮膚疾患を介して保育所内でB型肝炎に感染した疑いがあるとされ、日常生活の中でも感染が起こりうるとしています。

B型肝炎ワクチンは、日本では1985年に認可されており、最近出来たワクチンではありません。現在は、第二世代ワクチンとなっています。

B型肝炎ウイルスに感染しているお母さんから赤ちゃんが生まれる時に、主に産道でお母さんの血液にふれることで起こる感染を母子感染または垂直感染といいます。1986年1月から母子感染予防のため、B型肝炎ウイルスに感染

わたくしたちの健康

しているお母さんから生まれた赤ちゃんに、生後12時間以内を目安にB型肝炎ワクチンの初回接種をします。初回には抗HBsヒト免疫グロブリンを併用しますが、B型肝炎ワクチンを3回接種し、生後9か月で血液検査をします。母子感染予防事業としてB型肝炎ワクチンの接種が実施されるようになり、大きな成果をあげています。なお、この場合は健康保険の適用となりますが、B型肝炎ワクチンの定期接種の対象とはなりませんのでご注意ください。また、B型肝炎ウイルスに感染している血液に誤ってふれるなどの事故の場合は、労災保険や健康保険などによる費用負担で、抗HBsヒト免疫グロブリン1回とB型肝炎ワクチン3回接種が行われています。

B型肝炎ワクチンの副反応は、接種を受けた人の10%前後に倦怠感、頭痛、接種したところの腫脹、発赤、疼痛などがみられたと報告されていますが、新生児・乳児についても問題なく行われています。

2016年4月1日以前に生まれ、定期接種の対象年齢を過ぎていた小児・成人も、今まで通り任意接種で受けることが可能です。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。

### 日曜・休日に実施している医療機関

午前10時～午後4時

月日	場所	施設名	科目	電話(048)	場所	施設名	科目	電話(048)
6	和光	恵クリニック	内・消内・皮	464-9893	新座	梅沢皮フ科クリニック	皮	042-472-5118
	⑪ 新座	せおクリニック	消内・内・外・肛	480-3905	新座	新座すずのきクリニック	精神・心内	480-5511
8	13 和光	和光駅前クリニック	外・内・小・整外・消内・肛・リハ	460-3466	新座	静風荘病院	内・呼内・消内・循内	477-7300
	20 新座	片山診療所	小・内・皮・アレ	481-0260	和光	和光駅前クリニック	外・内・小・整外・消内・肛・リハ	460-3466
27	朝霞	鈴木内科	内・小	473-6611	朝霞	ささい耳鼻科クリニック	耳	450-3710



※当番医は変更になる場合があります。確認してからお出かけください。